

## 都市の未来を考える際の「(GDP の)成長戦略」の位置づけについて

上山 信一

2024 年 9 月 13 日

### 1. GDP の成長は今後も重要な目標

- GDP は地域の活力や豊かさを測る指標として一般的
- 世界全体、国・地域単位で GDP は今後も成長(or させなければならない)・・資本主義の宿命
- 特に大阪は“府市合わせ“のインフラ整備の遅れ等の機会ロスの回復というチャンスもある
- 副首都ビジョンで 2040 年に全国 GDP シェア 10%を掲げた経緯、一人当たりの所得増は継続課題
  - ➡たかが GDP,されど GDP (GDP matters)

### 2. 一方で先進国の都市はもはや「成長」を主たる目標に掲げていないという現実を理解すべき

- 欧州都市は軒並み、QOL (クオリティオブライフ)を志向 (eg.アムステルダムのだーナツ経済論)
- 米国都市も多くがスマートグロースや持続可能性 (Sustainability) に着目 (創造都市論)
- わが国指導層が執着する「成長戦略」はアベノミクスや「高度成長の夢をもう一度」のセンス？
  - ➡経済成長至上主義はもはや目標としてアピールしない。人々の関心は個人や環境、持続可能性にシフト

### 3. 2025万博は「持続可能性」「個人のハッピネス(or ウェルネス)」を重視し、経済成長を主目的としない・・むしろ脱成長(至上主義)こそが万博レガシーの一つ

- ➡「成長はすべての課題を解決する」という従来の発想を捨てよう

### 4. 識者も入れて検討した府市の「副首都ビジョン」でも人材誘引や QOL の探求こそが豊かな都市づくりの鍵と洞察した経緯がある

- 都市の魅力:QOL の高い都市が魅力高く、人材を誘引し、繁栄する
- 持続可能性:環境戦略、サーキュラーエコノミー政策等が新たな課題
  - ➡GDP 成長は、今後の都市戦略の成果の一つでしかなく、都市にとって主目標たりえない

(参考：CHAT GPT 検索の結果)

問) 世界の主要な大都市はどのようなビジョンを掲げ、何を求めていますか

世界の主要な大都市は、それぞれの地域のニーズや課題に応じた将来ビジョンを掲げており、共通して「持続可能な発展」「経済の繁栄」「社会的包摂」を軸にしつつも、独自の目標を設定しています

#### 1. ニューヨーク市（米国） - 「OneNYC 2050」

持続可能性と公平性を目指した成長を強調。気候変動への対応、経済の包括的発展、住居の拡充、インフラの近代化が重要な要素

- 気候変動対策: 海面上昇や気候災害のリスク軽減
- 経済の公平性: 富の偏在を緩和し、全市民にとって繁栄できる都市づくり
- インフラ整備: 交通、住宅、通信インフラの近代化

#### 2. ロンドン（英国） - 「The London Plan」

持続可能な開発と都市の成長を両立させる。

- 住宅供給: 低所得者層向けの住宅を含む、新しい住宅供給
- 交通システムの改善: 公共交通網の拡充、低排出ゾーンの設置
- 気候変動対策: 二酸化炭素の削減とグリーンエネルギーの推進

#### 3. パリ（フランス） - 「Paris 2050」

エコロジカルな都市への転換を目指す。都市の密集性を活かした持続可能な交通システムや、気候中立の建築を推進

- カーボンニュートラル: 温室効果ガスの削減、特に建築物や交通の脱炭素化
- 都市の緑化: 都市部の再自然化、緑地やパブリックスペースの拡大
- スマートシティ: 技術革新を駆使して、都市の効率性と住民の生活質を向上させる

#### 4. 上海（中国） - 「上海 2035」

国際金融・貿易のハブとしての地位を強化。革新技術と持続可能な成長

- グローバル都市化: 世界的な経済・技術の中心地としての地位を確立
- イノベーション: 人工知能、ビッグデータ、スマートインフラの導入による経済発展
- 持続可能な都市開発: 環境に優しい交通、エネルギー管理の強化

## 5. スtockホルム（スウェーデン） - 「Vision 2040」

2040年までに持続可能でスマートな都市になる。再生可能エネルギーの利用拡大や、効率的な公共交通を通じて、環境に優しい成長を実現

- 気候中立: 温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル目標
- 社会的包摂: 多様なバックグラウンドの人々が快適に暮らせる包摂的社会
- スマート都市化: テクノロジーを活用した効率的な公共サービス

## 6. シンガポール - 「Smart Nation」

デジタルインフラを強化し、経済、生活の質、ガバナンスを改善する

- 技術革新: 人工知能やIoTを活用したスマートインフラ
- サステナビリティ: 持続可能な都市開発、エネルギー効率の向上
- 社会福祉: 包摂的な社会福祉政策、ヘルスケアのデジタル化

## 7. 東京（日本） - 「Future Tokyo」

環境に配慮した成長と、急速に進む高齢化への対応。

- 環境保護: 再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の改善
- 都市インフラ: 地震対策や高齢化に対応した住宅・インフラ整備
- 経済の多様化: 観光、金融、技術分野

---

これらの都市が掲げるビジョンには、以下の共通要素が見られます。

1. 持続可能性: 環境に優しい都市づくりとカーボンニュートラルの達成
2. 経済成長: イノベーションと技術を活用した新しい経済モデルの追求
3. 社会的包摂: 多様性を尊重し、すべての市民が公平に利益を享受できる社会の構築

総じて気候変動、技術革新、そして住民の生活の質向上に取り組んでいます